

多様な主体が参画し、新たな価値を創造する「福山版サーキュラーエコノミー」の実現

広島県福山市（2023年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

福山市は、鉄鋼業のほかデニムに代表される繊維産業など多様な製造業が集積しており、「ものづくりのまち」として発展してきた。また、「ばらのまちづくり」に代表される市民と行政の協働がまちづくりの根幹を成しており、福山の文化として育んできた「思いやり・優しさ・助け合いの心（ローズマインド）」は、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」に通ずるものである。デジタルの活用が進み、時間と場所に捉われない働き方が広がる中で、首都圏等から人や企業を呼び込む環境を整えるとともに、人口減少・少子高齢化に的確に対応した施策を進めることで、誰もが希望するライフスタイルを実現できる都市にしていく必要がある。今後、ローズマインドをさらに育む中で、多様な主体が参画し、新たな価値を創造する「持続可能なまち」の実現をめざす。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

高い生産技術を有する企業やビジネスアイデアを持つ人材、地域・まちづくり団体、関係人口、行政などの市内外の多様なリソースと、社会面・経済面・環境面の課題をそれぞれ可視化し、マッチングすることにより、諸課題の解決と、それを通じた新たな価値の創造、資源の高度循環化につなげる「福山版サーキュラーエコノミー」を実現する。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームの構築



- ・市内のSDGsの取組や関連イベント等を発信
- ・SDGs推進宣言をした団体等を紹介
※当Webサイトで宣言の申込ができます。
⇒宣言団体の認知度が向上し、取組の輪が広がる
- ・団体等の課題と解決策のマッチングの場
⇒新たな価値が創造される



(例) アップサイクルされた家具や小物

5. 取組推進の工夫

全部局の局長で構成する「SDGs推進会議」を開催し、SDGs推進施策について議論するとともに、各種計画へのSDGsの反映を始めとする普及啓発や意識醸成の取組を全部局へ指示した。また、包括連携協定企業と連携し、幹部向け、一般職員向け、議員向けの研修会を開催した。

6. 取組成果

① デジタルプラットフォームの構築

- 次の機能を備えたデジタルプラットフォームをWebサイトとして構築した。
- ・課題とリソース（解決手法）の可視化、マッチングによるプロジェクトの創出
- ・プロジェクトで創出された商品や市内の好事例の発信
- ・SDGsに関するイベント等の発信

② 新たなプロジェクト創出に向けた取組

プラットフォームへの参画を促進し、より多くの主体との連携による新たなプロジェクトの自発的かつ継続的な創出につなげるため、市内外のSDGsの好事例の共有や参加者同士の交流、プラットフォームの周知・活用促進などを目的とするシンポジウムを開催した。市内の企業・団体から97名の参加があった。

7. 今後の展開策

2024年度は、デジタルプラットフォームと連携した福山市SDGs推進宣言制度を創設し、多様な主体を呼び込む仕組みを構築している。また、市内の機運醸成とプラットフォームの価値向上のため、SDGsモニターツアーやSDGsフェスタなどを実施することとしている。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

市内外に向けて、福山市の広報やホームページ、公式SNSなどを活用し、取組を随時発信している。また、本市のSDGsに関する方向性や市内の優良事例を紹介する啓発動画を作成し、動画サイトやデジタルプラットフォームにおいて発信している。

SDGs未来都市等進捗評価シート

2023年度選定

広島県福山市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

福山市 SDGs未来都市計画

特に注力する先導的取組

福山版サーキュラーエコノミーの実現

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（1）計画タイトル

福山市 S D G s 未来都市計画

（2）2030年のあるべき姿

“多様な主体が参画し、新たな価値を創造する「持続可能なまち」の実現”
「ばらのまちづくり」に代表される市民と行政の協働が、本市のまちづくりの根幹を成している。
その中で、福山の文化として育んできた「思いやり・優しさ・助け合いの心（ローズマインド）」は、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」に通ずるものである。
今後、ローズマインドをさらに育む中で、多様な主体が新たな価値を創造する「持続可能なまち」の実現をめざす。

（3）2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール

経済		社会	環境	
				 

（4）2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値		2023年（現状値）	2030年（目標値）		達成度 （％）
1	創業件数 【8.3】	2021年度	246 件	221 件	2025年度	225 件	119%
2	観光消費額 【8.9】	2021年	209.5 億円	408.1 億円	2025年	342.0 億円	150%
3	市民一人当たりの分配所得 【8.1、8.2、8.3、9.2】	2019年度	2,978 千円	データなし 千円	2025年度	3,039 千円	-
4	「まちづくりに関心がある」市民の割合 【17.16、17.17】	2020年	70.1 %	データなし %	2025年	75.0 %	-
5	ボランティア・N P Oなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数） 【17.16、17.17】	2021年度	208 団体・社	234 団体・社	2025年度	220 団体・社	217%
6	温室効果ガスの排出量 【13.2、13.3】	2018年度	27,801 千t-CO2	データなし 千t-CO2	2030年度	17,298 千t-CO2	-
7	再生可能エネルギーの発電設備導入容量 【7.2、12.2、13.2、13.3】	2021年度	254 MW	275 MW	2030年度	1,034 MW	3%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（５）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- 指標2：「観光消費額」
・福山ならではの「体験」、「交流」、「学び」につながる切り口での継続したプロモーションや各地域に存在する魅力的な観光資源の発掘・磨き上げ、発信強化により、観光需要の回復に繋がったものと考えられる。また、福山観光コンベンション協会へ行政から事業移管を行い、観光振興の中核として効果的かつ効率的な取組を進めたことも要因の一つと考えられる。
- 指標3：「市民一人当たりの分配所得」
・広島県が計測しており、数値の公表が2年度後であるため。2025年度に公表予定。
- 指標4：「「まちづくりに関心がある」市民の割合」
・総合計画の改定の際に計測するため。2024年度末に計測予定。
- 指標5：「ボランティア・N P Oなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数）」
・まちづくりサポートセンターにおいて開設したH PやFacebookを始め、ヒトマチラジオ（FMふくやま）への月1回出演や、メールマガジン配信（週1回）など、情報発信を継続したことが一つの要因となり、年々登録団体が増加したと考えられる。
- 指標6：「温室効果ガスの排出量」
・国の温対法による「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に基づき、本市の温室効果ガスの排出量を算定しており、国がまとめた数値の公表が4年度後であるため。2027年度に公表予定。
- 指標7：「再生可能エネルギーの発電設備導入容量」
・目標値については、国の第6次エネルギー基本計画に掲げられる政府目標である再エネ電源構成比38%を基に設定している。2023年度から、国の交付金を活用し、太陽光発電設備の導入補助を行っているが、交付金の上限額に制約があることなどから、全国と同様に発電設備の導入容量は伸びていない状況である（家庭向け太陽光・蓄電池の補助について、2023年度はわずか2日で予算の上限額に到達。2024年度は1日）。今後は、太陽光発電設備の導入補助や、中小事業者を対象とした二酸化炭素排出管理システム補助、省エネ診断補助に加え、公共施設へのPPAモデルによる太陽光発電設備の導入などを通じて、市民・事業者に対し、脱炭素社会の実現に向けた機運を醸成し、行動変容につなげていく。
- 行政内部の推進体制
・SDGs推進会議を開催し、SDGs推進施策について議論するとともに、普及啓発や意識醸成に取り組むよう、全部局へ指示した。また、職員研修として、包括連携協定企業と連携し、幹部向け、一般職員向け、議員向けの研修会をそれぞれ開催した。
- 情報発信・普及啓発
・市内のSDGsの取組や関連イベント等のほか、SDGs推進宣言をした団体等の紹介などを発信するWebサイト（デジタルプラットフォーム）を構築した。
・企業や団体等を対象としたSDGsシンポジウムを開催した。
- ステークホルダーとの連携
・SDGsに関する取組事例を共有し各ステークホルダーと連携することとしている「福山みらいづくり懇話会」について、包括連携協定企業からSDGsに関するオブザーバーを招へいし、他都市や民間企業の取組事例の紹介や、本市の施策への助言をいただいた。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2023年～2025年

（1）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2024年実績	2025年実績	2025年目標値	達成度(%)
1	循環型地域経済の形成、多様な働き方と人の流れの創出	市民一人当たりの分配所得	2019年度 2,978 千円	データなし 千円	千円	千円	2025年度 3,039 千円	-
2	循環型地域経済の形成、多様な働き方と人の流れの創出	びんごデジタルラボに参加する市内企業数（累計）	2021年度 61 社	159 社	社	社	2025年度 150 社	110%
3	未来を切り拓く教育	「授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいる」児童生徒の割合 小学校	2021年度 72.8 %	76.5 %	%	%	2025年度 80.0 %	51%
4	未来を切り拓く教育	「授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいる」児童生徒の割合 中学校	2021年度 79.3 %	76.7 %	%	%	2025年度 80.0 %	-371%
5	多様性ある地域コミュニティづくり	「まちづくりに関心がある」市民の割合	2020年 70.1 %	データなし %	%	%	2025年 75.0 %	-
6	多様性ある地域コミュニティづくり	ボランティア・NPOなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数）	2021年度 208 団体・社	234 団体・社	団体・社	団体・社	2025年度 220 団体・社	217%
7	希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現	「この地域で子育てをしたいと思う」親の割合	2021年度 94.7 %	92.9 %	%	%	2025年度 96.0 %	-138%
8	希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現	平均寿命と健康寿命の差 男性	2019年 1.29 年	データなし 年	年	年	2025年度 縮減	-
9	希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現	平均寿命と健康寿命の差 女性	2019年 2.84 年	データなし 年	年	年	2025年度 縮減	-

1．全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2023年～2025年

（1）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2024年実績	2025年実績	2025年目標値	達成度(%)
10	環境にやさしいまちづくり	ごみの排出量	2021年度 150 千t	139 千t	千t	千t	2025年度 142 千t	138%
11	環境にやさしいまちづくり	環境講座参加者数	2021年度 6,216 人	6,560 人	人	人	2025年度 10,000 人	9%

（2）自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

2023年（令和5年）7月～8月に実施したSDGsに関する企業・団体向けの認知度調査において、企業のSDGsの推進に向けて有効と思われる支援策として、「SDGsに取り組んだ企業に対するお墨付き、認定など」を求める声が多かった。

この結果を踏まえ、内閣府が示す「地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン」を参考に、「福山市SDGs推進宣言制度」の創設を検討し、2024年（令和6年）6月3日に制度を開始した。

（3）「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標1：「市民一人当たりの分配所得」
・広島県が計測しており、数値の公表が2年度後であるため。2025年度に公表予定。

●指標4：「授業では課題の解決に向けて 自分で考え 自分から取り組んでいる」児童生徒の割合
・指標については約8割の児童生徒が肯定的な回答をしているが、数値は微減している。授業において、探究的な学びとなる課題設定になっていない、自分で考える時間が十分に確保されていないといった状況が見受けられ、子どもが主体的に学ぶ授業づくりが十分にできていないことが一因と推測される。引き続き、教員の授業実践力向上のための研修や教育委員会事務局の指導主事の学校訪問等を通じて、授業改善を図っていく。

●指標5：「「まちづくりに関心がある」市民の割合」
・総合計画の改定の際に計測するため。2024年度末に計測予定。

●指標7：「この地域で子育てをしたいと思う」親の割合
・2023年度に実施した「福山市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査」において、前回（2019年度）に比べて「子育てに関する不安や負担を感じる」人の割合が増えている状況や、悩みの多様化もうかがえることから、指標の数値低下に影響していると推測される。今後は、こうしたニーズ調査の結果や市民も参画する子ども未来づくり100人委員会での意見を参考に、安心して子どもを生み育てやすい環境を整備していく。

●指標8：「平均寿命と健康寿命の差 男性」
・健康寿命の算定プログラム（厚生労働省科学研究）による健康寿命の算出が、2年度後であるため。2025年度に公表予定。

●指標9：「平均寿命と健康寿命の差 女性」
・健康寿命の算定プログラム（厚生労働省科学研究）による健康寿命の算出が、2年度後であるため。2025年度に公表予定。

●指標11：「環境講座参加者数」
・2020年度から2022年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響により、環境講座が開催できない状況があった。2023年度から再開したものの、これまで小学校や地域で開催していた環境出前講座について、対面での開催が難しいことから、2020年度以前の件数を大きく下回ったことが要因である。今後、小学校に対して環境出前講座の開催を周知するとともに、オンライン開催やSNS等を活用した動画配信などの実施方法を検討することで、2025年の目標値の達成につなげる。

（4）有識者からの取組に対する評価

—

2．特に注力する先導的取組

(1) 取組名

福山版サーキュラーエコノミーの実現

(2) 取組の概要

「ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）」をもって多様な主体と共に進めてきたまちづくりを持続的に発展させていく。これまでの個々の取組を可視化し多様な主体が参画するネットワークにおいて新たなビジネスの創出などイノベーションを加速させる。

(3) 三側面ごとの取組の達成状況

取組名	取組内容	指標名	当初値	2023年実績	2024年実績	2025年実績	2025年目標値	達成度(%)
【経済】 ①新たな人の流れとオープンイノベーションの創出	①－1 官民連携による新たな価値の創出の支援 ①－2 多様な主体の参画促進	福山ビジネスサポートセンター FukuBiz相談者 売上向上率	2022年 78.6 %	86.7 %	%	%	2025年 70%以上を継続して達成	-
【社会】 ②ウェルビーイングなまちづくり	②－1 地域の個性に応じた取組の推進 ② 2 持続可能な地域コミュニティの形成	福山市の住みやすさの満足度	2020年 69.7 %	データなし %	%	%	2025年 75.0 %	-
【社会】 ②ウェルビーイングなまちづくり	②－1 地域の個性に応じた取組の推進 ② 2 持続可能な地域コミュニティの形成	ボランティア・NPOなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数）	2021年度 208 団体・社	234 団体・社	団体・社	団体・社	2025年度 220 団体・社	217%
【環境】 ③カーボンニュートラルへの挑戦	③－1 脱炭素・循環型社会の構築	自家消費型太陽光発電導入容量	2023年度 0 MW（累計）	1.7 MW（累計）	MW（累計）	MW（累計）	2025年 6.5 MW（累計）	26%

(4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

●指標2：「福山市の住みやすさの満足度」

・総合計画の改定の際に計測するため。2024年度末に計測予定。

●指標3：「ボランティア・NPOなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数）」

・まちづくりサポートセンターにおいて、開設したHPやFacebookを始め、ヒトマチラジオ（FMふくやま）への月1回出演や、メールマガジン配信（週1回）など、情報発信を継続したことが一つの要因となり、年々登録団体が増加したと考えられる。【再掲】

●指標4：「自家消費型太陽光発電導入容量」

・目標値については、国の重点対策加速化事業（2023年度～2028年度）における交付金の実施計画と整合を図っている。家庭向けの太陽光発電設備の導入補助は上限に近い件数まで申請があったが、事業者向けは申請件数が伸びなかった。今後は、太陽光発電設備の導入補助や、公共施設への太陽光発電設備（PPAモデル）の導入を計画的に行うとともに、中小事業者を対象とした二酸化炭素排出管理システム補助や省エネ診断補助などを通じて、市民・事業者に対し、脱炭素社会の実現に向けた機運を醸成し、行動変容につなげていく。

2．特に注力する先導的取組（三側面をつなぐ統合的取組）

(1) 三側面をつなぐ統合的取組名

福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームの構築

(2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

高い生産技術を有する企業やビジネスアイデアを持つ人材、地域・まちづくり団体、関係人口、行政などの市内外の多様なリソースと、社会面・経済面・環境面の課題をそれぞれ可視化しマッチングするデジタルプラットフォームの構築により、諸課題の解決と、それを通じた新たな価値の創造、資源の高度循環化につなげる。

(3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇄環境	経済⇄社会	社会⇄環境
福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームにより生まれたプロジェクトに参画した企業を中心として、企業活動の持続的なあり方への転換が促進され、増加傾向にある事業系ごみの減量につながる。 あわせて、市内外の人や企業との共創による環境に配慮したプロジェクトを生み出すことで、新たなビジネスチャンスや雇用の機会の増加につながる。	福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームにより生まれたプロジェクトを通じて、都市圏から多様な主体を呼び込み、外からの視点での課題解決や新たな価値を創出することで、都市圏から地方圏への人の流れの加速と地域活性化につながる。 あわせて、多様な主体が参画する地域づくりを行うことで、社会課題や地域課題の解決と新たな価値の創出に取り組む人材が育成される。	福山版サーキュラーエコノミーの実現に向けたデジタルプラットフォームにより生まれたプロジェクトに市民が参画することにより、3Rに対する意識が高まり、モノを大切に使うといった、市民1人1人の環境に優しい行動変容へとつながる。 またプロジェクトを通じて、本市の課題への認識が深まり、魅力ある地域の持続的発展に向け、市民のボランティアや地域活動への参加が促進される。

(4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

No	指標名	当初値	2023年実績	2024年実績	2025年実績	2025年目標値	達成度(%)
1	【経済→環境】事業系ごみの排出量	2021年度 55,698 t	54,063 t	t	t	2025年度 52,570 t	52%
2	【環境→経済】プラットフォームを通じて創出したプロジェクト数	2023年 プラットフォーム構築予定	プラットフォーム構築	件	件	2025年 20 件	-
3	【経済→社会】ワーケータと市内外企業等の交流コーディネート件数（累計）	2021年度 10 件	30 件	件	件	2025年度 30 件	100%
4	【経済→社会】兼業・副業のマッチング件数（累計）	2022年度 7 件	22 件	件	件	2025年度 43 件	42%
5	【社会→経済】ビジネスコンテスト応募数	2022年度 38 件	37 件	件	件	2025年 50 件	-8%
6	【社会→環境】ごみの1人1日当たりの排出量	2021年度 893 g/人・日	834 g/人・日	g/人・日	g/人・日	2025年 842 g/人・日	116%
7	【環境→社会】ボランティア・NPOなどの市民活動団体数（まちづくりサポートセンター登録団体（企業）数）	2021年度 208 団体・社	234 団体・社	団体・社	団体・社	2025年 220 団体・社	217%

2. 特に注力する先導的取組（三側面をつなぐ統合的取組）

（5）自律的好循環の形成に向けた取組状況

本市の企業・団体等によるSDGsの取組を一層促進させていくため、2024年（令和6年）6月3日に「福山市SDGs推進宣言制度」を開始し、同年8月末現在で100件を超える宣言があった。デジタルプラットフォームにおいて、宣言団体の取組を発信し、普及啓発・連携促進を行っている。

（6）「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- 指標4：「兼業・副業のマッチング件数（累計）」
・これまでの実績（2021年度：4件、2022年度：3件）を踏まえ、2023年度は関連事業者と密に協議を進めながら、目標15件のマッチングを達成した。今後、PFSの導入も検討しながら、2025年度の達成度100%をめざす。
- 指標5：「ビジネスコンテスト応募数」
・減少した要因としては、2022年度は第1回目の開催であり、目新しさや期待感から想定以上の応募があった。その反動から2023年度は微減となったが、事業の認知は拡大している。対策としては、応募数の増加のため、高校生、大学生、起業をめざす人などターゲットを明確にし、それぞれに適した方法で情報発信を行う。
- ステークホルダーとの連携
・福山みらいづくり懇話会の構成員である各ステークホルダーの意見を聞く中で、デジタルプラットフォームの構築に取り組んだ。また、市内の企業・団体を対象としたシンポジウムを開催することで、SDGsに取り組む機運醸成とプラットフォームへの参画を促した。
- モデル的な取組の普及展開
・ばらのまちづくりで発生するばらの剪定枝を資源として捉え、デニムにアップサイクルする取組が始まった。同様に他の企業から木質のタンブラー等にアップサイクルする提案がなされた。ばらの剪定枝を使ったアップサイクルな取組がモデルとなり、他の取組へと波及している。

（7）有識者からの取組に対する評価

・中心的なアクションを起こす企業、市民とともにプラットフォーム、ネットワーク形成、先導事業への着手を評価することを期待する。また、生産拠点都市としてのポテンシャルを活用することを期待する。